

田川地区暴力団等総合対策推進協議会 一致団結して暴力団等を排除

2月19日、青少年文化ホールで自治体関係者、企業および防犯ボランティア団体の代表者などが集まり、田川地区暴力団等総合対策推進協議会が開催されました。

冒頭、田川警察署の花田利夫署長が「本年の4月には福岡県暴力団排除条例が施行される。今年を暴力団等排除元年と位置づけ、この推進協議会を中心的組織としていきたい」とあいさつ。

その後、参加者全員で「地域住民、事業者、行政、警察は、一致団結して、暴力団等排除活動に取り組み、安全で安心して暮らせる田川地区の実現に向けて邁進する」との決意表明を行いました。



▲会議に出席した参加者たち



▲日産自動車株式会社の
長野恭兵さん



▲エステー株式会社の鹿毛康司さん

まちづくり特別講演会

活力ある地域づくりの実現に向けて

2月22日、福岡県立大学で田川市企業誘致・育成産学官連携協議会主催の「まちづくり特別講演会」が開催されました。

これは連携協議会の目的の一つである「人材育成」活動の一環。始めに講演したのは東鷹高等学校卒の長野恭兵さん。

長野さんは日産自動車に勤務し、昨年行われた第40回技能国際大会で金賞を受賞。「無限の可能性、生かすも殺すも自分次第」という中学時代の恩師の言葉を胸に努力を重ねたことを紹介。続いて講演したのはエステー株式会社で宣伝部長を務める鹿毛康司さん。「情報を相手に伝えるには、事実を徹底的に調査・分析し、伝える工夫をすることが大事」という情報戦略の話に、参加者たちは熱心に聞き入っていました。

薬物乱用防止教育

シンナー、ダメ絶対!!

2月22日、福岡県立大学看護学部の3年生11人が、鎮西小学校で、6年生75人を対象とした薬物乱用防止教育の授業を行いました。

これは地域と大学が連携し住民のさまざまな生活問題を解決し、より元気で活力ある鎮西校区を目指す鎮西プロジェクトの一環として行われたものです。

看護学部の生徒たちは、スライドや体の模型図などの手作り教材を利用して、薬物やシンナーの恐ろしさを紹介。

児童は薬物の恐ろしさを学んだ後、8つのグループに分かれ、薬物を勧められた時の断り方を議論し、グループごとに発表を行いました。



▲手作りの教材を利用して授業する看護学部の生徒たち